

## 環境、社会、経済のトリプルボトムラインを重視し、 経営基盤の強化、企業価値の向上に努めます。

### エネルギー産業の一員としての認識

当社は、エネルギー産業の一員として永年にわたり、石油製品の安定供給という社会的責任を果たしてきました。しかし、社会的に環境保全の重要性が認識されるにつれて、企業が環境法規制などを遵守することはもちろん、社会的責任を果たし、環境保全への取り組みを情報開示することが、社会からも求められています。

環境にやさしい製品を購入するグリーンコンシューマーや、環境保全の進んだ企業に投資を行うグリーンインベスターなどの台頭により、この傾向はさらに強まりつつあります。

当社では、2001年からの2か年経営計画「価値創造21」の中で、ゴール目標の1つに「環境先進企業」を目指すことを掲げています。これは、今

日の企業を取り巻く社会情勢の変化の中で、その企業責任を果たしつつ持続可能な発展を目指すためには「環境と経済性の両立」の達成が、不可欠であるとの認識に基づくものです。

### 新しい環境推進体制の構築

当社では、これまで「地球環境委員会」を設置し、行動計画の策定や8分科会を中心とする各部門の環境保全活動を推進してきました。しかしながら、これまでの対応は各部門個別の取り組みが中心であり、今後は、会社全体で連携をより強化した活動をする必要があると考えています。

社会の要請と当社の実状を鑑み、「環境」は、経営的な視点でコントロールすべき課題の一つと認識し、これまでの環境保全活動の取り組

### 安全及び環境に関する基本方針

当社は、エネルギー産業の一員として、地域及び地球規模での環境保全を使命と認識しています。従来からあった方針をより明確にするために2001年2月の「地球環境委員会」において制定された「安全及び環境に関する基本方針」は、社内での共通認識であるとともに、社会に対する当社のコミットメントとして位置づけています。

### 安全及び環境に関する基本方針

#### 基本認識

コスモ石油は日本のエネルギーの過半を供給するエネルギー事業者たる石油精製販売業に携わるものとして、安全で安定した製品の供給、並びに地域及び地球規模での環境保全が大きな使命と認識しています。

#### 安全に関する基本方針

コスモ石油は安全、安定操業の維持発展を最重要課題の一つとして位置づけ、可燃物、高圧ガスなどを取り扱う事業所においては、従業員や事業活動に従事する全ての人々、及び地域住民の方々の安全の確保を図るとともに、地域社会との共生に努めます。

#### 環境に関する基本方針

コスモ石油は、地域環境問題への取り組みを最重要課題の一つとして位置づけ、事業活動を通じて発生する環境負荷の最小化を目指すとともに、長年培った高い技術力を駆使した環境関連技術の開発を通じて社会貢献をします。

みをさらに強化・発展させるべく、2002年度より全社を包含する独自の環境マネジメントシステムを導入します。また、環境保全推進組織である「地球環境委員会」と安全対策推進組織である「総合安全対策本部」を常務会のもとに組み入れることにより、環境課題及び安全対策に関する会社としての意思決定を明確化し、PDCAサイクルを効果的に回すことができる組織体制を構築します。

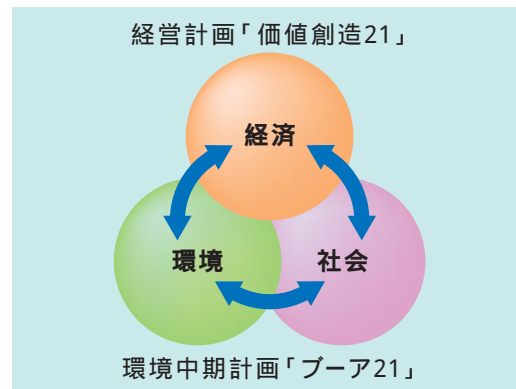
さらに、当社の環境保全活動を社内外に示すものとして、環境中期計画「ブーア21」\*を策定し、全社員が共有化し、取り組みます。「ブーア21」では、事業活動を原油生産段階から製造、物流、SS(サービスステーション)での販売といったライフサイクル全般にわたり、各段階における環境負荷削減に向け、当社が取り組んでいくための行動

目標を設定しています。

また、企業市民としての視点から社会性も取り込んだ行動目標を掲げています。

このように、当社は、経営計画である「価値創造21」に、環境中期計画である「ブーア21」を加え「環境」「社会」「経済」のトリプルボトムラインを重視する企業経営を目指していきます。

\* 詳細は、7～8ページを参照。



新しい環境推進体制を構築し、PDCAによる継続的な改善を推進

